



毎月ついたち  
しがプラチャレンジの日

# プラチャレ通信

毎月一日は「しがプラチャレンジの日」

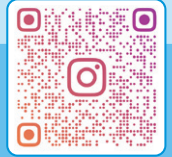
滋賀県では、毎月一日の「しがプラチャレンジの日」に合わせて、その月に県民のみなさんに実践していただきたいプラスチックごみ削減に向けたチャレンジ(プラチャレ)をこの通信でお知らせしています。今月のプラチャレの取組を、ぜひ実践してみましょう！

世界  
湖沼の日



特 集 号  
2025年8月27日発行

湖神挑ーくん Instagram



KOGAMI\_CHOICHI



## 8月27日、湖を守る日。 プラスチックごみと向き合うきっかけに 世界湖沼の日

### 「世界湖沼の日」って何？



インドネシアが主となり、日本を含む74か国が共同提案した国連決議案が2024年12月12日(現地時間)に国連総会で採択され、8月27日が国際デー「世界湖沼の日(World Lake Day)」として制定されました。

この8月27日は、1984年に滋賀県大津市で開催された第1回世界湖沼会議(当時は世界湖沼環境会議)の開会日にちなむもので、滋賀県に大変ゆかりがある日になります。

「世界湖沼の日」は、各国や国際機関が湖沼の重要性を認識し、協働して湖沼および関連する生態系を持続可能な形で維持・保全・再生することを目指して制定されました。

水を大切にし、湖沼の恵みに感謝することが、私たちの生活だけでなく、湖沼環境やそれが育む豊かな生態系を守ることに繋がります。

### 琵琶湖から始まった、湖をめぐる世界の対話

1984年、琵琶湖を舞台に開かれた「世界湖沼会議」では、29か国、延べ5,800人以上の科学者や行政、市民が琵琶湖に集まり「湖の未来を守る」取組が国際的に始まりました。この会議はその後定期的に開催され、これまでにアメリカ、イタリア、中国、インドネシアなど、世界各地で開催される国際的な環境会議へと発展しています。

世界に広がる湖沼保全の動きが、ここ滋賀県から始まったという事実は、私たちにとって大きな誇りです。

### 湖におけるプラスチックごみの現状



湖も海と同様にプラスチックごみの影響を受けています。琵琶湖では、河川からのごみ流入や湖岸への漂着が報告されており、生態系・人への影響が懸念されています。

見た目の美しさだけでなく、生きものや私たちの健康への影響も無視できません。普段の「使い捨て」を見直すことで、湖の未来を守る一歩になります。

### 今こそプラチャレで プラスチックごみ削減

「プラチャレ」は、普段の生活でできるプラスチックごみ削減行動を応援する活動です。マイバッグ、マイボトル、リユース容器、使い捨てプラスチック削減…ひとりひとりの行動が、湖沼保全に繋がります。

「世界湖沼の日」は、湖と人々のつながりを再認識し、その大切さを世界中で考える日です。これを機に、琵琶湖とあなたの関わりを見つめ直し、未来を考えるきっかけにしてみませんか？

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/event/341220.html>

滋賀県  
「世界湖沼の日」  
ホームページ



# BIWAKO

ご意見・お問合わせ先

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 [TEL] 077-528-3477 [FAX] 077-528-4845



プロジェクト  
キャラクター  
こがみ ちょうち  
湖神挑ー